

# 広報 ぎかんきょう

発行  
岐阜県環境整備事業協同組合  
岐阜市六条大溝 4-13-6  
☎ 058-274-0567  
FAX 058-275-2712  
発行人 玉川 福和



一、六〇〇名が参加して開催された浄化槽タウンミーティング岐阜

## 浄化槽(合併)を生かした合理的な下水道を提案

# 下水道・浄化槽(合併)ミックス事業で費用大幅削減

## 「浄化槽タウンミーティング岐阜」

1,600名が参加して浄化槽の普及促進を話し合う

### 主催者・後援者挨拶(抜粋)

浄化槽の普及促進について話し合う「浄化槽タウンミーティング岐阜」が環境省主催、岐阜県、社団法人岐阜県浄化槽連合会後援で九月二十二日、長良川国際会議場で開かれた。ミーティングには、県・市町村行政関係及び議会関係者、浄化槽団体・組合員ら合わせて千六百名が参加、「生活排水対策の手段と選択」と題する基調講演に続いて、国・市町村・市民・新聞マスコミ・業界の立場で「浄化槽の普及促進策」を話し合うパネルディスカッションを開催、生活排水対策における浄化槽の位置づけや有効性を中心に会場からの発言も含めて議論を深めた。ディスカッションでは、①浄化槽の経済性や環境優越性、②合併浄化槽を生かした(合併浄化槽、下水道をミックスした)合理的な面整備事業の提案、③合併浄化槽の下水道への無駄なつなぎ込みの健勝、④生活排水処理計画における住民への情報開示をはじめ問題の協議と提起が行われた。(ディスカッションの詳細P2~P9、基調講演抜粋P9~P10)

市町村の予算にとつてもっともプラスになる浄化槽

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部長  
南川 秀樹

浄化槽は、健全な水循環に果たす役割は極めて大きいものであります。また、下水道と異なり、



南川 秀樹 部長



猿渡 要司 環境部長



玉川 福和 会長

管渠を必要としな

まして、もっとその普及を図るといふ動きがあつてしかるべきでございますが、また逆の動きもございます。全国知事会議などから、いわゆる地方六団体から三位一体改革ということで補助金の削減案が出されてお

り、その中で、なぜか浄化槽整備の補助金を含む廃棄物処理施設整備費の補助金

平成元年度より県補助制度を創出したしまして、これまで二万三、〇〇〇基が整備されてきたところでございます。本年度も三、〇〇〇基以上の整備を予定しているところでござい

ら、短期間かつ安価に設置できる、そういった効率的な汚水施設として今後一層の普及が期待されておるところであります。環境省といたしまして、厳しい公共事業予算の中ではございますけれども、今年度予算におきまして約二六〇億円、対前年度比二〇%増の予算を確保し、その一層の拡大整備に努めているところでございます。本来ならばその環境意

性、また経済的有意性からして、浄化槽の普及促進を促すべく、国・市町村・市民・新聞マスコミ・業界の立場で「浄化槽の普及促進策」を話し合うパネルディスカッションを開催、生活排水対策における浄化槽の位置づけや有効性を中心に会場からの発言も含めて議論を深めた。

本県では皆様方のご尽力によりまして、平成十一年には全国に先駆けて合併処理浄化槽新設一〇〇%を達成することができました。また、浄化槽の維持管理におきましても、皆様方と法定検査機関の連携によりまして、清掃、保守点検、法定検査を一括契約するシステムが導入されまして、徹底した維持管理が進められていくところでござい

ま、一向に単独浄化槽の設置が設置されたわけでは

平成の時代になりまして、一向に単独浄化槽の設置が設置されたわけでは

### 浄化槽の整備促進と適正な維持管理のために

岐阜県環境局長  
猿渡 要司

浄化槽は、国庫補助制度によりまして積極的にその整備が図られているところ

浄化槽は、下水道で水洗化の恩典に与れない人が非常に多いことから四〇年代から五〇年代にかけて単独浄化槽が日本で発明され、下水道のフォロワーをすることにいたしました。そして二〇年間でおよそ七〇〇万基とも言われる単独浄化槽が設置されたわけ

浄化槽は、下水道で水洗化の恩典に与れない人が非常に多いことから四〇年代から五〇年代にかけて単独浄化槽が日本で発明され、下水道のフォロワーをすることにいたしました。そして二〇年間でおよそ七〇〇万基とも言われる単独浄化槽が設置されたわけ

### 浄化槽を下水道につなぐ工夫のなさを議論

社団法人岐阜県浄化槽連合会会長  
玉川 福和



# の下水道への接続は、無策の策、

## 方向転換を議論、提起



大森英昭氏

ていただきます。浄化槽というときに、まず私自身が大きく考えます

大原則でございますし、それによりましてその地域の河川水量も維持されるわけ

でございます。かつては、水田という大きな調整機能があったわけでござい

ます。現在、私も補助を出してあります。浄化槽は二通りござい

ます。おつたんですけれども、浄化槽だけでしたら三〇億円で済んだと。そ

私ども、現在予算要求をいたしております。いろいろ厳しい状況はござい

ます。おつたんですけれども、浄化槽だけでしたら三〇億円で済んだと。そ

【大森】 たいだいまからパネルディスカッションを始めます。最初に、各パネラーの方からご所存を約十分ぐらいずつお話をいただくと思

【南川】 きょうは浄化槽について、私の現在の取り組み、また担当者としての私の思いをお話しさせ

【大森】 たいだいまからパネルディスカッションを始めます。最初に、各パネラーの方からご所存を約十分ぐらいずつお話をいただくと思

【南川】 きょうは浄化槽について、私の現在の取り組み、また担当者としての私の思いをお話しさせ

【大森】 たいだいまからパネルディスカッションを始めます。最初に、各パネラーの方からご所存を約十分ぐらいずつお話をいただくと思

【南川】 きょうは浄化槽について、私の現在の取り組み、また担当者としての私の思いをお話しさせ

【大森】 たいだいまからパネルディスカッションを始めます。最初に、各パネラーの方からご所存を約十分ぐらいずつお話をいただくと思

【大森】 たいだいまからパネルディスカッションを始めます。最初に、各パネラーの方からご所存を約十分ぐらいずつお話をいただくと思

【南川】 きょうは浄化槽について、私の現在の取り組み、また担当者としての私の思いをお話しさせ

【大森】 たいだいまからパネルディスカッションを始めます。最初に、各パネラーの方からご所存を約十分ぐらいずつお話をいただくと思

【南川】 きょうは浄化槽について、私の現在の取り組み、また担当者としての私の思いをお話しさせ

【大森】 たいだいまからパネルディスカッションを始めます。最初に、各パネラーの方からご所存を約十分ぐらいずつお話をいただくと思

【南川】 きょうは浄化槽について、私の現在の取り組み、また担当者としての私の思いをお話しさせ

【大森】 たいだいまからパネルディスカッションを始めます。最初に、各パネラーの方からご所存を約十分ぐらいずつお話をいただくと思

【南川】 きょうは浄化槽について、私の現在の取り組み、また担当者としての私の思いをお話しさせ

【大森】 たいだいまからパネルディスカッションを始めます。最初に、各パネラーの方からご所存を約十分ぐらいずつお話をいただくと思

【南川】 きょうは浄化槽について、私の現在の取り組み、また担当者としての私の思いをお話しさせ

【大森】 たいだいまからパネルディスカッションを始めます。最初に、各パネラーの方からご所存を約十分ぐらいずつお話をいただくと思

【南川】 きょうは浄化槽について、私の現在の取り組み、また担当者としての私の思いをお話しさせ

【大森】 たいだいまからパネルディスカッションを始めます。最初に、各パネラーの方からご所存を約十分ぐらいずつお話をいただくと思

【南川】 きょうは浄化槽について、私の現在の取り組み、また担当者としての私の思いをお話しさせ

【大森】 たいだいまからパネルディスカッションを始めます。最初に、各パネラーの方からご所存を約十分ぐらいずつお話をいただくと思

【南川】 きょうは浄化槽について、私の現在の取り組み、また担当者としての私の思いをお話しさせ

【大森】 たいだいまからパネルディスカッションを始めます。最初に、各パネラーの方からご所存を約十分ぐらいずつお話をいただくと思

【南川】 きょうは浄化槽について、私の現在の取り組み、また担当者としての私の思いをお話しさせ

【大森】 たいだいまからパネルディスカッションを始めます。最初に、各パネラーの方からご所存を約十分ぐらいずつお話をいただくと思

【南川】 きょうは浄化槽について、私の現在の取り組み、また担当者としての私の思いをお話しさせ

【大森】 たいだいまからパネルディスカッションを始めます。最初に、各パネラーの方からご所存を約十分ぐらいずつお話をいただくと思

【南川】 きょうは浄化槽について、私の現在の取り組み、また担当者としての私の思いをお話しさせ

【大森】 たいだいまからパネルディスカッションを始めます。最初に、各パネラーの方からご所存を約十分ぐらいずつお話をいただくと思

【南川】 きょうは浄化槽について、私の現在の取り組み、また担当者としての私の思いをお話しさせ

### 生活排水処理問題を構造的に、徹底的に見直す時期を迎えている

南川秀樹氏



森 弘彦氏



（前ページより）置が止まりませんでした。そこで、法整備を安易に考え

【大森】 たいだいまからパネルディスカッションを始めます。最初に、各パネラーの方からご所存を約十分ぐらいずつお話をいただくと思

【南川】 きょうは浄化槽について、私の現在の取り組み、また担当者としての私の思いをお話しさせ

【大森】 たいだいまからパネルディスカッションを始めます。最初に、各パネラーの方からご所存を約十分ぐらいずつお話をいただくと思

【南川】 きょうは浄化槽について、私の現在の取り組み、また担当者としての私の思いをお話しさせ

【大森】 たいだいまからパネルディスカッションを始めます。最初に、各パネラーの方からご所存を約十分ぐらいずつお話をいただくと思

【南川】 きょうは浄化槽について、私の現在の取り組み、また担当者としての私の思いをお話しさせ

【大森】 たいだいまからパネルディスカッションを始めます。最初に、各パネラーの方からご所存を約十分ぐらいずつお話をいただくと思



# 生活排水処理済みの浄化槽(合併)

## 下水道の赤字穴埋めからの

パネル  
ディスカッション

### パネルディスカッション出演者

|          |                      |    |    |    |    |   |
|----------|----------------------|----|----|----|----|---|
| コーディネーター | 財団法人日本環境整備教育センター理事   | 大南 | 森川 | 英秀 | 昭樹 | 氏 |
| パネリスト    | 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部長 | 森  | 川  | 弘  | 彦  | 氏 |
| "        | 郡上市助役                | 野  | 村  | 克  | 之  | 氏 |
| "        | 岐阜新聞社編集局報道部副部長       | 小  | 林  | 由  | 紀  | 氏 |
| "        | 環境カウンセラー             | 玉  | 川  | 福  | 和  | 氏 |
| "        | 社団法人岐阜県浄化槽連合会会長      |    |    |    |    |   |

(前ページより)  
槽においても地元負担金はすべて二五万で、八人槽をつくられても五人槽をつくられても、その差額は村が持ち出していきますよといふことであります。郡上の全体的な調整は和良村だけでございませぬ。今そういうふうにして、いわゆる負担金の平等化をしていこうと思っております。  
それから、もう一つは管理の問題です。いわゆる下水道関係につきましては、市が管理しますけれども、戸別に行われました皆さんの管理もしていかなければいけません。これは市へ貸与をしていただいて、それ

### 今一番問われているのは、 目先の損得よりもコスト意識、コスト削減

【大森】 ありがとうございます。いまは、やはり市の町村合併に伴って生活排水各種の手段の調整、現実はどういう問題が対象として上がってくるのか、身につきまされるようなお話でございました。また、後ほど行政府のみならず、業界はそれにどう対応するのかというようなことも話題にのりたてはなかるかと思っております。

【大森】 ありがとうございます。いまは、やはり市の町村合併に伴って生活排水各種の手段の調整、現実はどういう問題が対象として上がってくるのか、身につきまされるようなお話でございました。また、後ほど行政府のみならず、業界はそれにどう対応するのかというようなことも話題にのりたてはなかるかと思っております。

【大森】 ありがとうございます。いまは、やはり市の町村合併に伴って生活排水各種の手段の調整、現実はどういう問題が対象として上がってくるのか、身につきまされるようなお話でございました。また、後ほど行政府のみならず、業界はそれにどう対応するのかというようなことも話題にのりたてはなかるかと思っております。

道につきましては二十一年までに調整いたしますし、下水道、浄化槽につきましては二十五年までにすべてを解決していききたいと、そんな考えでありますので、また皆様のご批判、ご指導をお願いしたいと思っております。  
水、浄化槽の現場では考えてないというのが実感だと、思うんですね。(中略)  
今一番市町村合併の中で問われているのは、コスト削減が一つの大きな目的なんだと思うんですけど、そこでそういう生活排水対策の中の下水道とか合併浄化槽の中のいわゆるコスト意識、目先の損得も大事なんだし、けど、長年長期にわたる、そして全体的なコスト意識というものもやっぱり僕たち自身も問うていかなきゃいけないし、住民の皆さんもいろいろ問うていかなきゃいけない。なかなかそういうことを考える生活の場面までないというのが実情だもんですから、それをあえてこういったタウンミーティングという機会をいただいた中で、いろいろ僕たちも考えていかなきゃいけないなというふうな考えております。  
私、消費生活センターの方の講座も何度か組ませていただいたんですが、やはり市民も同じプロセスで考えていこうと、もう一つ加えていきたいのは、環境をきれいにしようという意識が、環境教育の中で一番大事なことだ、環境と自分たちが努力

【大森】 ありがとうございます。いまは、やはり市の町村合併に伴って生活排水各種の手段の調整、現実はどういう問題が対象として上がってくるのか、身につきまされるようなお話でございました。また、後ほど行政府のみならず、業界はそれにどう対応するのかというようなことも話題にのりたてはなかるかと思っております。

【大森】 子供の目を通して、子供の感覚から水質汚濁とか環境の変化を考えたい。これをよく聞かれたわけでありまして、今だれも言いません。そこで、私は金額についてどういう構造になっているか、わかりやすくまとめました。  
表1-1(注・本紙四頁参照)であります。下水道の未利用人口、下水道から見た下水道以外は何だということですが、五、一二二万人まだあります。そして、それをすべて下水道事業費に置きかえると七六兆八、三〇〇億円、日本全体をすべて下水道で仕上げようとするとこれだけかかるわけです。逆に一方、浄化槽の方から見ると、浄化槽も下水道も含めてそれ以外はどれだけあるかという三、七八〇万人になります。それを下水道にするとどれだけになるのかという、(次ページへつづく)



野村克之氏



小林由紀子氏



玉川福和氏

【野村】 生活者という立場から考えてみますと、下水道というのはわかるんですけど、浄化槽というのは生活者としてなかなかわかりにくいというのが実感です。  
実はうちのおやじとおふくろが岐阜の田舎の村に住んでいて、そこでこの夏の夏ごろに、ぼろ家だもんだから台所

【大森】 ありがとうございます。いまは、やはり市の町村合併に伴って生活排水各種の手段の調整、現実はどういう問題が対象として上がってくるのか、身につきまされるようなお話でございました。また、後ほど行政府のみならず、業界はそれにどう対応するのかというようなことも話題にのりたてはなかるかと思っております。

【小林】 私が今しているのは水の環境学習ということで、二つの学校、小学校と中学校を去年担当させていただいたところを取り上げてみました。一見、水というテーマが難しいの、いろいろなことをやっているというのをちょっと見ていただくとわかるかと思っております。(中略)  
環境問題ということで考えていくと、水というのは大変大切な要素でして、まず問題を知って興味を持つとか、学校なんかでは魚とか鳥とか、小さな生き物を指標に、ツールに使っていかないと、とても子供たちの興味が開かれていきません。(中略)



生活排水事業について

全国の生活排水処理事業費

平成14年度 下水道実利用人口 7,547万人、下水道未利用人口 5,122万人。
浄化槽(合併)を含んだ生活排水処理済人口は 8,889万人。
浄化槽(合併)利用人口 1,342万人を下水道事業費にすると 20兆1,300億円。
生活排水未処理人口は 3,780万人。

表-1 生活排水処理事業費

※浄化槽市町村整備推進事業

Table with 5 columns: 事業名, 下水道, 浄化槽(合併), ミックス事業 (下水道, 浄化槽(合併)), and 総事業予算. Rows include 未利用人口, 1人当りの事業予算, 1世帯当りの事業予算, 総事業予算, and 下水道のみとの差額.

(世帯当り3.14人で算出)

岐阜県の生活排水処理事業費

平成14年度 下水道実利用人口 90万6千人、下水道未利用人口 120万6千人。
浄化槽(合併)を含んだ生活排水処理済人口は 125万8千人。
浄化槽(合併)利用人口 35万人を下水道事業費にすると 5,250億円。
生活排水未処理人口は 85万6千人。

表-2 生活排水処理事業費

※浄化槽市町村整備推進事業

Table with 5 columns: 事業名, 下水道, 浄化槽(合併), ミックス事業 (下水道, 浄化槽(合併)), and 総事業予算. Rows include 未利用人口, 1人当りの事業予算, 1世帯当りの事業予算, 総事業予算, and 下水道のみとの差額.

(世帯当り3.14人で算出)

生活排水処理済の浄化槽(合併)を下水道に接続しないものと定義付けるならば、今後の下水道事業は自然発生的に縮小され、合理的な面整備と変化していくはずである。

(前ページより)
一、三四二万人が生活排水未処理対象人口でありますから、下水道換算すると二〇兆円、要は合併浄化槽を生かしていけば二〇兆円の違いがあるんですよと、ここで、じゃあ残りをすべて合併浄化槽でやってみよう、と九兆六、三九〇億円を日本全国でできます。差額は六七

兆円あると。そこで、下水道を否定しているわけではありませんが、この生活排水未処理対象人口三、七八〇万人をミックス事業でやったらどうなるかというのと、一八九〇万人です。下水道は二兆三、五〇〇億円、合併浄化槽は四兆八、一九五億円です。差額は四三兆六、六〇五億円、見たこともないような数字であります。現実、

このまま下水道を進めるとどうなるか。岐阜県ではどうなるかと置きかえました。表一(注・本紙当四頁下の表参照)であります。未利用人口は一二〇万人まだあります。総事業費は一兆八、〇〇〇億円、まだ岐阜県で下水道予算は要る。それを浄化槽の部分から見ると一兆五、九〇〇億円の差額があるということなんです。

ミックス事業を同じくやりますと一兆円が軽減されると、こういうことでありま。ここでは一つのルールを決めなくちゃいけません。弱い者がいつもいじめられて、敗者は退場するということであっては人間社会とは言えない。したがって、人間社会の中でルールは当然必要です。せつかく設置された合併浄化槽は下水道につながないという

ルールづくりが必要だと思。います。ここで一番最後の部分にアンダーラインを引きました。生活排水処理済みの浄化槽(合併)を下水道に接続しないものと定義づけるならば、今後の下水道事業は自然発生的に縮小され、合理的な面整備と変化していくはずである。これはこの事業に携わる人たち、人間の良心が必ずそこ

【大森】ありがとうございます。先ほど郡上の森さんがおっしゃった、いろいろな地域計画の策定というところをもう一つシミュレーションしたときの費用の問題から比較をしてみたい。現実にはこういうことが極めて単純に出てくるんですよというお話で、大変この問題ではなくて、関西に行きまして、東に行きまして、まずいずれの地域に行っても、だんだん集中都市から郡部へ離れるほど、下水道事業の中で既設の合併処理浄化槽を優先的につないでいくという傾向は非常に強いわけでありまして、例えば大阪のある市におきまして、放流水BOD、TN、すべて高度処理施設並みのすばらしい機能を、維持管理技術の結果、発揮している三、〇〇〇人槽、五、〇〇〇人槽といったものが、周辺の単独処理やくみ取りを放置したまま優先的に下水道に接続されていきます。こういった実態は、日本国じゅう消えることがないわけでありまして、一体何をやっているのか、私がある能書き言う前に、今、ご発表いただいた五人の方が、それぞれなたかに何かこのところをもう一度聞きたいとか、ここに對して自分の意見を出してみたいとか、何かそういうことがございませぬでしょうか。例えば野村さんなんかはマスコミ代表選手

【野村】森助役さん、各地で市町村合併をやっているんですけど、先ほどちょっと言われましたけど、生活者、いわゆる住民としてのコストです。先ほど和良では五、〇〇〇円のもの、八幡町になると一万円になっている。それをどうやって埋めているか、埋めないのかというやり取りがあるんですけど、一応郡上市の例としてはそれを埋めないままとあえず行くということになっているんです。

【森】町村合併をしたときに、本来なら数字を合わせていくべきだと思っておりますが、今まで各町村はそれぞれ加入分担保金が違うわけですから、使用料が違ってしまう。そして、もし同じ町村で市が新しい基準を決めたとする、その旧町村単位で早くやってもえれば、もし市の条例が安かったとき、地域間でもしよくないわけですね。たまたまうちの(旧和良村)集落がなくなったので市の高い条例になっちゃったということがあり得ます。郡上市の下水道処理場はだいたい二十五年に完成する予定ですから、そこまでは旧町村の基

本料金を決めた旧町村のもので行こうという決め方を(次ページへつづく)

(前ページより)  
 【大森】 今、森さんのお話の中では、合併に伴って各自治体ごとの料金の格差の是正であるとか、あるいはそれをどういう形で、大きな落差をつけずに時間をかけて調整をしていこうかと、こういったお話がありましたね。玉川さん、今の郡上の合併問題と料金の話となりまして、それぞれの自治体ごとに保守点検、清掃という、特に浄化槽だけ引っ張り出したときにあったと思います。こういった合併問題と料金の格差調整なんていうときに、業界団体としては基本的にどういう態度、どういう考え方で対応するんでしょうか。  
 【玉川】 岐阜県下の特に合併浄化槽については均衡がとれておりまして、らくらく契約というものを実施しております。したがって、市町村合併されたからといって、その住民に格差ができて困るという状況は発生しないと思っております。  
 【大森】 浄化槽については発生しない。下水道であるとか下水道、公共環境、あるいは農集についてはそういう問題が実際に存在するということになりますか。  
 【玉川】 この点については資料の九頁の表18(注・本紙下参照)に参考資料があります。表の中ほどに不足額の億円単位の赤字額がある。これは毎年これだけ赤字をしておる。これを一世帯ずつに置きかえるところということになるわけです。この数字の違うところ同士が合併したとき

表-8 岐阜県54市町村の下水道料金内訳(平成14年度) △は、補填額5万円以上

| 市町村名  | 下水道利用世帯数 | 管理費(億円/年) | 使用料収入(億円/年) | 不足額(億円/年) | 1世帯が本来支払うべき経費(円/年) | 1世帯当りの不足額(円/年) |
|-------|----------|-----------|-------------|-----------|--------------------|----------------|
| 岐阜市   | 116,710  | 60.2      | 46.3        | 13.8      | 51,600             | 11,855         |
| 大垣市   | 29,740   | 27.1      | 10.4        | 16.7      | 91,100             | △ 56,097       |
| 高山市   | 17,327   | 17.4      | 9.9         | 7.5       | 100,400            | 43,468         |
| 多治見市  | 23,995   | 17.6      | 8.8         | 8.8       | 73,300             | 36,569         |
| 関市    | 20,994   | 12.0      | 7.3         | 4.7       | 56,900             | 22,332         |
| 中津川市  | 5,827    | 11.0      | 3.5         | 7.6       | 189,500            | △ 129,699      |
| 美濃市   | 1,562    | 3.2       | 0.6         | 2.6       | 204,600            | △ 164,623      |
| 瑞浪市   | 6,490    | 6.6       | 3.3         | 3.3       | 101,400            | △ 50,352       |
| 羽島市   | 1,547    | 7.8       | 0.9         | 6.9       | 504,000            | △ 446,873      |
| 恵那市   | 4,529    | 6.1       | 3.7         | 2.4       | 134,900            | △ 54,075       |
| 美濃加茂市 | 5,784    | 11.7      | 4.2         | 7.5       | 202,300            | △ 129,610      |
| 土岐市   | 10,223   | 14.3      | 5.5         | 8.8       | 139,600            | △ 85,909       |
| 各務原市  | 20,794   | 16.0      | 6.4         | 9.6       | 76,900             | 46,341         |
| 可児市   | 12,086   | 17.3      | 6.7         | 10.7      | 143,500            | △ 88,439       |
| 川島町   | 929      | 1.9       | 0.4         | 1.5       | 200,600            | △ 159,653      |
| 岐南町   | 4,018    | 4.8       | 1.5         | 3.3       | 119,700            | △ 82,391       |
| 笠松町   | 3,543    | 5.2       | 1.6         | 3.6       | 146,700            | △ 102,471      |
| 柳津町   | 1,672    | 3.3       | 0.8         | 2.4       | 194,900            | △ 144,093      |
| 海津町   | 742      | 3.6       | 0.5         | 3.1       | 490,400            | △ 417,350      |
| 平田町   | 357      | 2.1       | 0.3         | 1.9       | 601,500            | △ 523,571      |
| 南濃町   | 2,238    | 4.9       | 0.8         | 4.0       | 217,400            | △ 180,626      |
| 養老町   | 522      | 1.5       | 0.2         | 1.3       | 295,700            | △ 248,835      |
| 上石津町  | 481      | 1.3       | 0.2         | 1.1       | 272,400            | △ 221,595      |
| 関ヶ原町  | 946      | 2.2       | 0.5         | 1.7       | 233,900            | △ 180,040      |
| 安八町   | 1,810    | 3.6       | 1.1         | 2.5       | 199,100            | △ 135,795      |
| 北方町   | 3,532    | 5.2       | 1.8         | 3.4       | 145,900            | △ 95,510       |
| 洞戸村   | 281      | 0.5       | 0.1         | 0.4       | 173,100            | △ 127,267      |
| 武芸川町  | 976      | 1.3       | 0.6         | 0.7       | 130,800            | △ 68,538       |
| 八幡町   | 1,001    | 2.3       | 0.4         | 1.9       | 229,200            | △ 191,315      |
| 大和町   | 488      | 1.4       | 0.4         | 1.0       | 289,700            | △ 212,227      |
| 白鳥町   | 442      | 1.0       | 0.2         | 0.8       | 227,900            | △ 179,326      |
| 高鷲村   | 460      | 2.4       | 0.5         | 2.0       | 532,300            | △ 427,261      |
| 和良村   | 329      | 0.5       | 0.2         | 0.3       | 149,500            | △ 79,544       |
| 坂祝町   | 2,131    | 1.5       | 0.6         | 1.0       | 72,100             | 45,235         |
| 富加町   | 732      | 1.5       | 0.4         | 1.0       | 199,900            | △ 143,399      |
| 川辺町   | 1,094    | 2.3       | 0.6         | 1.7       | 209,600            | △ 152,440      |
| 八百津町  | 1,594    | 2.9       | 0.8         | 2.1       | 181,700            | △ 131,185      |
| 御嵩町   | 1,498    | 5.1       | 0.8         | 4.3       | 338,200            | △ 287,344      |
| 兼山町   | 358      | 0.6       | 0.5         | 0.1       | 163,300            | 28,595         |
| 笠原町   | 368      | 1.4       | 0.2         | 1.3       | 392,800            | △ 347,720      |
| 坂下町   | 958      | 1.7       | 0.5         | 1.3       | 181,500            | △ 133,747      |
| 付知町   | 1,199    | 2.5       | 0.6         | 1.9       | 207,300            | △ 156,023      |
| 福岡町   | 484      | 0.8       | 0.2         | 0.5       | 162,700            | △ 111,729      |
| 蛭川村   | 431      | 1.4       | 0.3         | 1.1       | 315,900            | △ 255,021      |
| 岩村町   | 1,049    | 1.5       | 0.5         | 0.9       | 140,500            | △ 89,051       |
| 萩原町   | 226      | 1.3       | 0.2         | 1.1       | 584,900            | △ 497,858      |
| 下呂町   | 1,046    | 4.1       | 1.4         | 2.7       | 390,600            | △ 258,700      |
| 金山町   | 848      | 2.0       | 0.6         | 1.4       | 230,200            | △ 162,103      |
| 白川村   | 297      | 1.3       | 0.2         | 1.1       | 440,200            | △ 360,582      |
| 宮村    | 125      | 0.5       | 0.1         | 0.4       | 394,900            | △ 346,848      |
| 久々野町  | 182      | 0.5       | 0.1         | 0.4       | 248,300            | △ 192,604      |
| 古川町   | 1,815    | 2.6       | 1.3         | 1.3       | 145,200            | △ 72,565       |
| 国府町   | 281      | 0.6       | 0.2         | 0.4       | 217,500            | △ 148,064      |
| 上宝村   | 398      | 2.6       | 0.9         | 1.8       | 660,500            | △ 442,354      |
| 合計    | 319,489  | 315.9     | 140.5       | 175.4     |                    |                |

に、足して割ればいいんでしようが、徴収金額において赤字補てん額はまちまちになる。そして、さらに徴収金額はどこに引きずられてあの金額を設定してあるかということ。これは建設省と、今の国交省であります。昔、議論したことがありますが、下水道は赤字なんです。下水道の料金を上げる必要があるんじゃないのか。そうしたら、国交省の人がそちらも上げて、環境管理にはコストがかかるとおっしゃった。このコストというのは一体どういうものがコストであつて、この費用、コストの負担はだれがどうすべきだということにお考えでしょうか。  
 【小林】 情報があまりたかさんないということがあつて、環境教育の中でコストということを考えるには、何にどうコストがかかるかということ。一番大事かと思つた。これは、やってみたら思つた。五十年前に戻すのか、五十年前に戻すのかというのいろいろ議論があると思つた。いろいろな条件を考へていくコストというのでも、だからいろいろ条件をみ込んで、この条件に対してどのぐらいのコストだつたら我慢ができるかなということ考へる。このように思つた。やる前にこういう結果はわかつておつたと思つた。特に現在、事業採択を受けようとしておられる市町村の方もこの中におられると思つた。こういうことを、本当のことに書いて事業採択に及ぶのかどうか、何かトリックで黒字になるようなことを書いて、そして通過していくものなのか、赤字のまま申告をして事業採択があるものなのか、どなたかにお答え願えるとありがたい。  
 【大森】 話がやや核心に触れてまいりましたが、先ほどから私もこれは疑問の一つなものであります。事業採択して突撃という前に、突撃するところからいふ赤字になりはせんかという予測はみんなしたんじゃないのかと思つた。全くしなかつたら、これは問題であります。にもかかわらず、その事業を選択したというところに、きょうおいでの行政庁の方で、おれはこういう考え方でこういうふうにして、この表を見るとおれのところはもの見事に赤三角だということなことを、ひとつ何かお話しただけの方、いらつしやいませんでしょつか。行政庁の直接の方ではなくて、そういった事業計画の提案に対して議会で検討したときに、やるべきだと思つたとか、一抹の不安があつたとか、しかしこういう観点からやつたとかやめたとか、議会でそういった討論の経験をされた議員さんがもしいらしたら、ぜひその辺のことを、お話しただけで非常なありがたいんでございます。  
 【フロア発言者】 住民はコストのことよりも、将来安心・安全が守られるかどうか、そして自分の負担がどれだけか、それは関心があると思つた。そのほかは行政に任せると、こういうことです。私は揖斐川町の区長ですので、住民の気持ちをよくわかつていふつもりであります。自分がどれだけ負担をしなければ(次ページへつづく)



(前ページより)

ならんか、それは関心があると思います。(中略)住民にとっては行政のやられることは将来的に安心・安全が買えるんだと、こういう一言に尽きると思いますが、だから、県なり国なりが施策等についての早い情報供給や正しい指導をしていただくことが非常に大切であると思います。

【南川】 おっしゃるとおりでございます。私もこのように、必要なら、私自身非常に感じております。国・県・市町村、さらに市町村の各部署、この間の情報管理というものが大変地域、地域で異なっております。このことについて、(中略)今区長さんがおっしゃったように、必要なコスト、費用負担、あるいは将来の税金の使われ方、こういった情報が全く伝わっていない、これはだれがどうやってやるかはわかりませんが、少なくともきょうのテーマである生活排水、浄化槽の普及問題の中の非常に大きな条件として、下水、農集、浄化槽に関する行政とその事業主体になる自治体の将来の財政の予測などというものは、もし当事者ができなければ、きょうの資料に出ている範囲であります。結構な公営企業年鑑とか市町村決算状況調べが、あるわけでありまして、ひとつひとついって、財政マニアルなどを民間団体で、ほとんど世の中のために出さうなんていうことは考えませんか。

にこれがさらに必要になってくるのかということとを全部示さないと納得をいただけない、また実際に財政の計画がつくっていけないという時代に来年ぐらいからは確実になると思っています。そういう意味で、非常にシビアに財政というものを見詰めて、費用を見詰めて、そして納得を得ていくということがますます必要になると思っています。

### 役所が住民に正しい情報を伝えることを拒むことに大きな問題が内在

【玉川】 私もこういう大会を年に一回、一、〇〇〇人大会と称して十年間くらい続けてやっています。〇〇〇人の人たちが十人に伝えれば一万人に膨れていくんですが、そういう作業も怠っていたなという反省点があります。もう一つは、住民の方に正しい情報を伝えられる機能があるのは、やはり役所だろうと思う。役所の人が住民に知らせることをなぜ拒むかと、そこに大きな問題が内在していると思いませんか。伝え出すと全部伝えなくちゃいかん。しかし伝えたくないこともある。この赤字のありようはやはり伝えたくない部分なのかなと思います。

【大森】 ありがとうございます。私自身非常に感じております。国・県・市町村、さらに市町村の各部署、この間の情報管理というものが大変地域、地域で異なっております。このことについて、(中略)今区長さんがおっしゃったように、必要なコスト、費用負担、あるいは将来の税金の使われ方、こういった情報が全く伝わっていない、これはだれがどうやってやるかはわかりませんが、少なくともきょうのテーマである生活排水、浄化槽の普及問題の中の非常に大きな条件として、下水、農集、浄化槽に関する行政とその事業主体になる自治体の将来の財政の予測などというものは、もし当事者ができなければ、きょうの資料に出ている範囲であります。結構な公営企業年鑑とか市町村決算状況調べが、あるわけでありまして、ひとつひとついって、財政マニアルなどを民間団体で、ほとんど世の中のために出さうなんていうことは考えませんか。

【大森】 ありがとうございます。私自身非常に感じております。国・県・市町村、さらに市町村の各部署、この間の情報管理というものが大変地域、地域で異なっております。このことについて、(中略)今区長さんがおっしゃったように、必要なコスト、費用負担、あるいは将来の税金の使われ方、こういった情報が全く伝わっていない、これはだれがどうやってやるかはわかりませんが、少なくともきょうのテーマである生活排水、浄化槽の普及問題の中の非常に大きな条件として、下水、農集、浄化槽に関する行政とその事業主体になる自治体の将来の財政の予測などというものは、もし当事者ができなければ、きょうの資料に出ている範囲であります。結構な公営企業年鑑とか市町村決算状況調べが、あるわけでありまして、ひとつひとついって、財政マニアルなどを民間団体で、ほとんど世の中のために出さうなんていうことは考えませんか。

【玉川】 私もこういう大会を年に一回、一、〇〇〇人大会と称して十年間くらい続けてやっています。〇〇〇人の人たちが十人に伝えれば一万人に膨れていくんですが、そういう作業も怠っていたなという反省点があります。もう一つは、住民の方に正しい情報を伝えられる機能があるのは、やはり役所だろうと思う。役所の人が住民に知らせることをなぜ拒むかと、そこに大きな問題が内在していると思いませんか。伝え出すと全部伝えなくちゃいかん。しかし伝えたくないこともある。この赤字のありようはやはり伝えたくない部分なのかなと思います。

【大森】 ありがとうございます。私自身非常に感じております。国・県・市町村、さらに市町村の各部署、この間の情報管理というものが大変地域、地域で異なっております。このことについて、(中略)今区長さんがおっしゃったように、必要なコスト、費用負担、あるいは将来の税金の使われ方、こういった情報が全く伝わっていない、これはだれがどうやってやるかはわかりませんが、少なくともきょうのテーマである生活排水、浄化槽の普及問題の中の非常に大きな条件として、下水、農集、浄化槽に関する行政とその事業主体になる自治体の将来の財政の予測などというものは、もし当事者ができなければ、きょうの資料に出ている範囲であります。結構な公営企業年鑑とか市町村決算状況調べが、あるわけでありまして、ひとつひとついって、財政マニアルなどを民間団体で、ほとんど世の中のために出さうなんていうことは考えませんか。

【大森】 ありがとうございます。私自身非常に感じております。国・県・市町村、さらに市町村の各部署、この間の情報管理というものが大変地域、地域で異なっております。このことについて、(中略)今区長さんがおっしゃったように、必要なコスト、費用負担、あるいは将来の税金の使われ方、こういった情報が全く伝わっていない、これはだれがどうやってやるかはわかりませんが、少なくともきょうのテーマである生活排水、浄化槽の普及問題の中の非常に大きな条件として、下水、農集、浄化槽に関する行政とその事業主体になる自治体の将来の財政の予測などというものは、もし当事者ができなければ、きょうの資料に出ている範囲であります。結構な公営企業年鑑とか市町村決算状況調べが、あるわけでありまして、ひとつひとついって、財政マニアルなどを民間団体で、ほとんど世の中のために出さうなんていうことは考えませんか。



グロイン(会場) 一会場(浄化槽) 浄化槽(浄化槽) 浄化槽(浄化槽)



グロイン(会場) 一会場(浄化槽) 浄化槽(浄化槽) 浄化槽(浄化槽)

【大森】 ありがとうございます。私自身非常に感じております。国・県・市町村、さらに市町村の各部署、この間の情報管理というものが大変地域、地域で異なっております。このことについて、(中略)今区長さんがおっしゃったように、必要なコスト、費用負担、あるいは将来の税金の使われ方、こういった情報が全く伝わっていない、これはだれがどうやってやるかはわかりませんが、少なくともきょうのテーマである生活排水、浄化槽の普及問題の中の非常に大きな条件として、下水、農集、浄化槽に関する行政とその事業主体になる自治体の将来の財政の予測などというものは、もし当事者ができなければ、きょうの資料に出ている範囲であります。結構な公営企業年鑑とか市町村決算状況調べが、あるわけでありまして、ひとつひとついって、財政マニアルなどを民間団体で、ほとんど世の中のために出さうなんていうことは考えませんか。

【大森】 ありがとうございます。私自身非常に感じております。国・県・市町村、さらに市町村の各部署、この間の情報管理というものが大変地域、地域で異なっております。このことについて、(中略)今区長さんがおっしゃったように、必要なコスト、費用負担、あるいは将来の税金の使われ方、こういった情報が全く伝わっていない、これはだれがどうやってやるかはわかりませんが、少なくともきょうのテーマである生活排水、浄化槽の普及問題の中の非常に大きな条件として、下水、農集、浄化槽に関する行政とその事業主体になる自治体の将来の財政の予測などというものは、もし当事者ができなければ、きょうの資料に出ている範囲であります。結構な公営企業年鑑とか市町村決算状況調べが、あるわけでありまして、ひとつひとついって、財政マニアルなどを民間団体で、ほとんど世の中のために出さうなんていうことは考えませんか。

【大森】 ありがとうございます。私自身非常に感じております。国・県・市町村、さらに市町村の各部署、この間の情報管理というものが大変地域、地域で異なっております。このことについて、(中略)今区長さんがおっしゃったように、必要なコスト、費用負担、あるいは将来の税金の使われ方、こういった情報が全く伝わっていない、これはだれがどうやってやるかはわかりませんが、少なくともきょうのテーマである生活排水、浄化槽の普及問題の中の非常に大きな条件として、下水、農集、浄化槽に関する行政とその事業主体になる自治体の将来の財政の予測などというものは、もし当事者ができなければ、きょうの資料に出ている範囲であります。結構な公営企業年鑑とか市町村決算状況調べが、あるわけでありまして、ひとつひとついって、財政マニアルなどを民間団体で、ほとんど世の中のために出さうなんていうことは考えませんか。

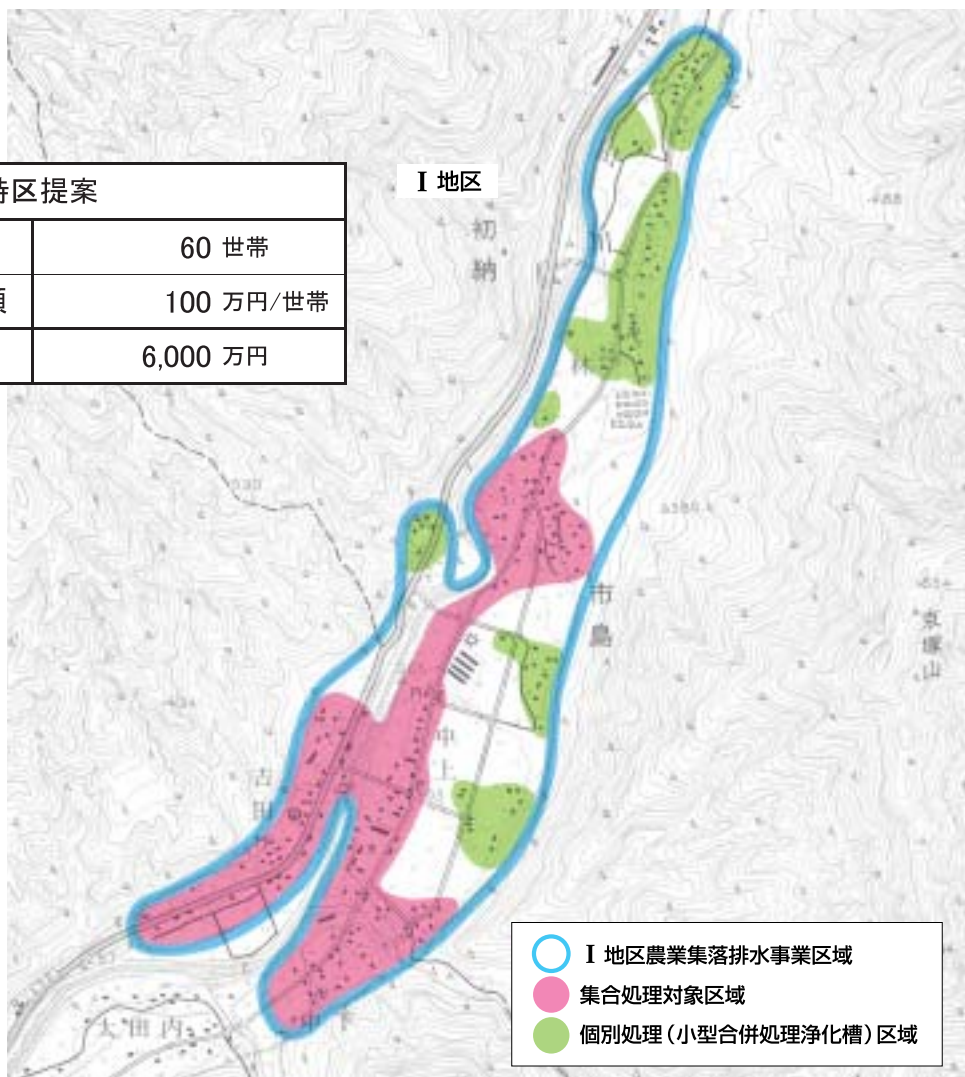
(次ページへつづく)



表-13 浄化槽(合併)併用による農業集落排水事業

|           |            |                |           |
|-----------|------------|----------------|-----------|
| 市町村名      |            | 岐阜県 H 町        |           |
| 処理地区      |            | I 地区           |           |
| 計 画       | 現状制度による計画  | 浄化槽(合併)併用による計画 |           |
|           |            | 集合処理           | 浄化槽(合併)   |
| 処理戸数      | 323 世帯     | 263 世帯         | 60 世帯     |
| 処理人口      | 1,400 人    | 1,150 人        | 250 人     |
| 管路延長      | 11,000 m   | 6,000 m        | —         |
| 事業費       | 15億3,000万円 | 10億0,000万円     | 6,000万円   |
|           |            | 10億6,000万円     |           |
| 計 画       | 現状計画       | 併用計画           | 差         |
| 1世帯当りの事業費 | 474 万円/世帯  | 328 万円/世帯      | 146 万円/世帯 |
| 1人当りの事業費  | 109 万円/人   | 76 万円/人        | 33 万円/人   |
| 事業費       | 15億3,000万円 | 10億6,000万円     | 4億7,000万円 |

|           |           |
|-----------|-----------|
| 特区提案      |           |
| 対象世帯      | 60 世帯     |
| 1世帯当りの支給額 | 100 万円/世帯 |
| 支給総額      | 6,000 万円  |



【玉川】 私の理解する範囲で、日本における下水道法は百年前、明治三十二年に制定されております。その当時は、汚水処理は下水道しかないという状態。そして、資料の十九ページの第十一条の三は何を言っているかというと、下水道処理区域のくみ取り便所は三年以内に接続して水洗化しなさい、文化的な生活をなさいと言っているわけです。そしてその下の部分です。昭和四十七年九月二十八日に局長通知が出ております。浄化槽での周囲に与える影響やその処理に要する費用にかんがみ、公共下水道への汚水管の直結をいつているわけです。初めて浄化槽をここでつなげるといっているわけです。これは汚泥とか、主には経営上のことなんだよといっているわけですね。このあたりから(下水道が)経営難に陥っているという苦し紛れの通知が出た。当然、このときは合併浄化槽を想定した通知ではありません。それで十九ページの一

【玉川】 私の理解する範囲で、日本における下水道法は百年前、明治三十二年に制定されております。その当時は、汚水処理は下水道しかないという状態。そして、資料の十九ページの第十一条の三は何を言っているかというと、下水道処理区域のくみ取り便所は三年以内に接続して水洗化しなさい、文化的な生活をなさいと言っているわけです。そしてその下の部分です。昭和四十七年九月二十八日に局長通知が出ております。浄化槽での周囲に与える影響やその処理に要する費用にかんがみ、公共下水道への汚水管の直結をいつているわけです。初めて浄化槽をここでつなげるといっているわけです。これは汚泥とか、主には経営上のことなんだよといっているわけですね。このあたりから(下水道が)経営難に陥っているという苦し紛れの通知が出た。当然、このときは合併浄化槽を想定した通知ではありません。それで十九ページの一

(前ページより) けたらどうだと。そうすると六、〇〇〇万円で済みます。だから四億一〇〇〇万円は軽減できるんですけど、こう話しましたら、それはおもしろい、特区としてやりたい、ぜひ資料を送ってくれと、こういうことになりました。到着したころに小泉さんの思いで内閣改造をするという話も出てきて、今後特区室と直接話し合いを進める段階に来てお

りませんが、何せ日本の制度というのはそれがいいからつくった、つくったが、縛りがかり過ぎて身動きがならない。どうも頭がかたいもんですから、新制度の提案になるのかなと今思っています。特区としてやりますが、とりあえず特区室がありますから、そこと若干交渉した後に、国会議員さんとも十分話し合いを持って、特別区において新制度を提案すれば十分メリットはあるわけです。百

万円いたれば浄化槽を設置した人の不満は解消できる金額だと思つて、こういうこともあわせ考えていた。だくことも大事かなと、こう思つての提案です。

【南川】 今、玉川さんからの話にございまして、私もさつきちよつと申しましたけれども、三省で三二〇億の枠をつくつて、これは最低限ですから多分その枠がふえていくと思つています。それを共通費として計上して、あとは市町村がいきさつに關係なく、本当に自分が好きなものを選択して申請ができるようにしたいということをやつていきます。これも金子大臣の方から提案もあつて、それを財務省がぜひやろうじゃないかということ、三省で今上げています。これを一つのぜひ突破口にしたいと思つています。やはりなかなか各省の垣根というものは重いんですけれど

も、そうしますと一番困るのは実際に現場で仕事をす市町村であります。そうか、あるいは三年以内につ効に突破口にして、そして今回の金子大臣の特区がひとつ大いに成果が出たといふふうに持つていきたいなと思つています。

【大森】 ありがとうございます。これは玉川さんにお考えいただくか、あるいは南川さんにもお話をいただくか

したいと思つていますが、浄化槽は必ず下水管が入つたらつながらいかんのかという意味で、ぜひこれを有効に突破口にして、そして今回の金子大臣の特区がひとつ大いに成果が出たといふふうに持つていきたいなと思つています。

【大森】 ありがとうございます。これは玉川さんにお考えいただくか、あるいは南川さんにもお話をいただくか

したいと思つていますが、浄化槽は必ず下水管が入つたらつながらいかんのかという意味で、ぜひこれを有効に突破口にして、そして今回の金子大臣の特区がひとつ大いに成果が出たといふふうに持つていきたいなと思つています。

浄化槽(合併)を下水道につなぐことは速やかになくすべき愚行

【玉川】 私の理解する範囲で、日本における下水道法は百年前、明治三十二年に制定されております。その当時は、汚水処理は下水道しかないという状態。そして、資料の十九ページの第十一条の三は何を言っているかというと、下水道処理区域のくみ取り便所は三年以内に接続して水洗化しなさい、文化的な生活をなさいと言っているわけです。そしてその下の部分です。昭和四十七年九月二十八日に局長通知が出ております。浄化槽での周囲に与える影響やその処理に要する費用にかんがみ、公共下水道への汚水管の直結をいつているわけです。初めて浄化槽をここでつなげるといっているわけです。これは汚泥とか、主には経営上のことなんだよといっているわけですね。このあたりから(下水道が)経営難に陥っているという苦し紛れの通知が出た。当然、このときは合併浄化槽を想定した通知ではありません。それで十九ページの一



(前ページより)  
常に弱い都市をつくってしまつた。下水道がはびこつたのが大きな原因であるところ、こう思います。財政的には、設置された浄化槽は接続せずに生かして使うことができないだろうか。岐阜県下でも毎年六、〇〇〇基、多いときには一万基ほど設置されました。それを

下水道換算いたしますと七〇億円になる。この岐阜県内でもそういう状況です。しかし、市町村は、一生懸命それを優先的に下水道へつなぐという現象が起きておる。  
私は過去、単独浄化槽廃止に取り組みました。法改正もこれほど難しいのかなと実感しましたが、今の南

川部長のような熱意のある人はあの当時いませんでした。布陣もできました、そして条件も整いました。機は熟したんでありますから、ここで南川部長にどうかよろしくお願ひしたいとお願ひするしかありません。  
【大森】 南川さん、何しただけの思い入れを南川さん

にしておるわけでございませぬが、今の問題についてひとつコメントをお願いいたします。【南川】 この下水道接続問題ですが、今、実はさつき申しましたが、三省の共同予算要求もあるものですから、全体的な調整をやっております。もう少し時間をいただきたいと思っております。



会場の長良川国際会議場メインホールは一、六〇〇名の参加者で満員

ただ、確実に言えますのは、合併浄化槽から接続するということについては意味がないと思います。確かに単独浄化槽であれば、これは生活排水が全く垂れ流しにされておるわけでございませぬ。それを取り組むことについては水質汚濁対策上非常に意味があると思ひます。合併浄化槽であれば、今やっているものをほかに移しかえるだけですから、おつしやつたように下水道の方の会計をよくするだけということ、何の意味があるのか、非常に判断に苦しむところでございませぬ。ただ、調整については、いましばらく時間をいただきたく思ひます。

【大森】 ありがとうございます。今のお話を伺っていますと、いわゆる環境論的に既に存在しておる合併処理浄化槽を下水へつなぐという意味合いは全くないだろう、間違いなくそのとおりだと私は思ひます。ただ、問題は、いろいろな行政施策の時間差から、同一地域に下水あり、農集あり、浄化槽あり、それも単独、合併ありというフレンジーな地域が結果的に出現をしたために大変混乱が起きます。今、もう単独は絶対につけちゃいかんわけでありませぬ。さらに、どうやって既存単独を合併に変えていくかという行政努力も求められておる。そうすると、既に存在しているところへ管渠を引いたというのは、善意に考えれば何か総合計画がうまくできなかつた、特に一般廃棄物処理計画の中の生活排水処理計画という総合対策が不十分だったということですが、そうなつちやつたときに、じゃあほいほいと合併処理浄化槽を下水へつなぎますかということですか。

【大森】 私、これだけは間違いなく断言いたしますが、小型合併を個別につけて、消毒薬さえなければ、沈殿槽でアユを飼つても困りませぬ。私は大阪の淡水魚の試験場の専門家と二人で、大型、小型の合併処理浄化槽で、コイ、フナ、アユ、モロコに至るまでの養殖実験を実際にやりました。問題にならないくらい大きくなります。だから、川がきれいになるのではないかと、家庭から川へ到着する間の水の流れの中で、一〇出たものが幾つ川まで行くのか。非常に自浄作用が大きくなるから、これだけ私は保証できると思ひます。



パネルディスカッションで意見交換に熱が入るパネラー

【大森】 ありがとうございます。今のお話を伺っていますと、いわゆる環境論的に既に存在しておる合併処理浄化槽を下水へつなぐという意味合いは全くないだろう、間違いなくそのとおりだと私は思ひます。ただ、問題は、いろいろな行政施策の時間差から、同一地域に下水あり、農集あり、浄化槽あり、それも単独、合併ありというフレンジーな地域が結果的に出現をしたために大変混乱が起きます。今、もう単独は絶対につけちゃいかんわけでありませぬ。さらに、どうやって既存単独を合併に変えていくかという行政努力も求められておる。そうすると、既に存在しているところへ管渠を引いたというのは、善意に考えれば何か総合計画がうまくできなかつた、特に一般廃棄物処理計画の中の生活排水処理計画という総合対策が不十分だったということですが、そうなつちやつたときに、じゃあほいほいと合併処理浄化槽を下水へつなぎますかということですか。

【大森】 ありがとうございます。今のお話を伺っていますと、いわゆる環境論的に既に存在しておる合併処理浄化槽を下水へつなぐという意味合いは全くないだろう、間違いなくそのとおりだと私は思ひます。ただ、問題は、いろいろな行政施策の時間差から、同一地域に下水あり、農集あり、浄化槽あり、それも単独、合併ありというフレンジーな地域が結果的に出現をしたために大変混乱が起きます。今、もう単独は絶対につけちゃいかんわけでありませぬ。さらに、どうやって既存単独を合併に変えていくかという行政努力も求められておる。そうすると、既に存在しているところへ管渠を引いたというのは、善意に考えれば何か総合計画がうまくできなかつた、特に一般廃棄物処理計画の中の生活排水処理計画という総合対策が不十分だったということですが、そうなつちやつたときに、じゃあほいほいと合併処理浄化槽を下水へつなぎますかということですか。

【小林】 いろいろ知らないことがたくさんあつたんです。下水にこれだけお金がかかっているということにまずびっくりしたということ。それがはつきりいるんな市町村で数字が出ているということは、まずびっくりしました。こういう知識が私たちにあつたら、もう少し選べるのではないかと、一つ一つ今玉川さん、大森先生のお話を聞きまして、今までちよつと疑問に思つてきたことが少しずつ解けてきた感じがして、どんな山奥のおうちでも、合併浄化槽があつたならもつと河川環境がきれいになるのではないかと、気がついて、たくさん勉強になりました。ありがとうございます。

(次ページへつづく)



【前ページより】  
 いるな切実な問題がありましたが、森さんのところはこの問題はすべてお抱えになつておる。平成二十一年から二十五年までの余裕を見て、いろんな解決をしながら、森さんと思つたところでは、この辺でさらにこれは考えられるとお思いになりましたか。

【森】 まず将来に向かつて悩んでおります。調整問題ですが、やはり住民に今まで、ややもすると行政が知らしめずにきておる。そのことよって、公共料金を安くせよ、安くせよというのが住民の皆さんの大半の意見ですが、本当に安くしたときにどこまで

【大森】 いろいろ論議をいたしてまいりましたが、きょうの論議を通じて私なりに幾つかの柱ができたのかなと思つた。順番に申し上げますと、最初に南川さんからいろいろお話がありましたが、いわゆる三位一体の行政・財政改革と言えはいいんですか、こういったことに対応するために、地方自治体、特に市町村というのはいかような行政体制をつくらなければならないのか。今まではばらばらで考え、あるいは県に聞けばいいところをみずからが律していく。どういった金の使い方をするか、をみずから決めなきゃいかん。と同時に、首長さんと議会の議員諸氏のこう

いった課題に対する科学的、客観的な検討というのがどうしても必要である。新しい形の地方自治、市町村単位の考える組織、活動が求められると、これが非常に大きなことではなかったかと思つた。さらに見方によっては大きいことと思つた。国・県・市町村、住民を含めて、特にごみとか、し尿とか、生活排水とか、こういった生活環境密着型の事業の情報求めるといふことが必要であるという事です。



パネルディスカッションでは学校での水の環境学習からの意見発表もなされた。

は、役場自体がつけなげという話と、今この地域がどっちに向いておるのかといった話と、あるいは、よく考えてみたら計画変更した方が有利だったというふうな結論が出るかもしれない。こういうことを考えると、すぐつなぐのではなくて、そのまま独立して稼働をさせて、もう少し時間をかけて、もっと合併がふえるんだら、計画変更なり縮小の方向に行くだろうし、依然としてくみ取り、単独のまま推移するとしても、こういうことはないとはいえませんが、またそこで考え直さなきゃならんということ、いずれにしても、すぐにつなぐものではない

ということだと思つた。特にこの点につきましては、南川さんという国の部長さんが見えなくなった。きょう初めてのタウンミーティングであります。そこで、大変我々は心強いお言葉をいただいた。要するに、つなぎ込むというのは技術的に意味のあることではない。単に下水の財政の問題かなということ。我々、やはりよりどころというのは国の法律であり、法制度の整備であり、それから、ひとつ南川さんにそういったご努力を、頑張っていたらいい。こういったことをまとめとして、一応ここで締めさせていきたいと思います。

我々の生活を取り巻いてあります。いろいろな環境問題の中で、特に生活排水というものを中心に考えてみた場合に、特に下水道と浄化槽といったことがよく出てくるわけでありまして。しかし、よく考えてみますと、下水道法にのつた流域下水道から公共、特環、あるいは農水省でやりになつております浄化槽法上の浄化槽の一種であります。農業集落排水事業、あるいは個別の合併処理浄化槽、個別という言葉と小さいということとは必ずしも一致をしないわけでありまして、小さければ五人槽だし、大きければ数千人、数万人というのも個別浄化槽として扱われているわけでありまして。これらのいろいろな手法というものが、たくさんあると、あるいはそれに基づいた各省市の補助制度であるとか、種々多数の条件のもとに提示を

【大森】 いろいろ論議をいたしてまいりましたが、きょうの論議を通じて私なりに幾つかの柱ができたのかなと思つた。順番に申し上げますと、最初に南川さんからいろいろお話がありましたが、いわゆる三位一体の行政・財政改革と言えはいいんですか、こういったことに対応するために、地方自治体、特に市町村というのはいかような行政体制をつくらなければならないのか。今まではばらばらで考え、あるいは県に聞けばいいところをみずからが律していく。どういった金の使い方をするか、をみずから決めなきゃいかん。同時に、首長さんと議会の議員諸氏のこう

いった課題に対する科学的、客観的な検討というのがどうしても必要である。新しい形の地方自治、市町村単位の考える組織、活動が求められると、これが非常に大きなことではなかったかと思つた。さらに見方によっては大きいことと思つた。国・県・市町村、住民を含めて、特にごみとか、し尿とか、生活排水とか、こういった生活環境密着型の事業の情報求めるといふことが必要であるという事です。

浄化槽法を全部ひっくりかえして、排水口の排水に丸がついて、どれだけの水を一日に使う、生活排水として排出をしておるのか。これが各種の汚水処理施設に集められて、浄化されて放流をしております。じゃあ、排水口の排水の、例えばBODが同じ二〇以下だ

浄化槽法を全部ひっくりかえして、排水口の排水に丸がついて、どれだけの水を一日に使う、生活排水として排出をしておるのか。これが各種の汚水処理施設に集められて、浄化されて放流をしております。じゃあ、排水口の排水の、例えばBODが同じ二〇以下だ

【大森】 いろいろ論議をいたしてまいりましたが、きょうの論議を通じて私なりに幾つかの柱ができたのかなと思つた。順番に申し上げますと、最初に南川さんからいろいろお話がありましたが、いわゆる三位一体の行政・財政改革と言えはいいんですか、こういったことに対応するために、地方自治体、特に市町村というのはいかような行政体制をつくらなければならないのか。今まではばらばらで考え、あるいは県に聞けばいいところをみずからが律していく。どういった金の使い方をするか、をみずから決めなきゃいかん。同時に、首長さんと議会の議員諸氏のこう

浄化槽法を全部ひっくりかえして、排水口の排水に丸がついて、どれだけの水を一日に使う、生活排水として排出をしておるのか。これが各種の汚水処理施設に集められて、浄化されて放流をしております。じゃあ、排水口の排水の、例えばBODが同じ二〇以下だ

浄化槽法を全部ひっくりかえして、排水口の排水に丸がついて、どれだけの水を一日に使う、生活排水として排出をしておるのか。これが各種の汚水処理施設に集められて、浄化されて放流をしております。じゃあ、排水口の排水の、例えばBODが同じ二〇以下だ

浄化槽タウンミーティング  
**基調講演**

(要点抜粋)

**生活排水対策の手段と選択**

財団法人日本環境整備教育センター

理事 大森英昭

とかが一〇以下だとか、こういった数字であれば、その水はどこにどういふ条件で流しても環境にマイナスの影響を与えないという考え方が成立するかと、大ききく分けて二つの論点があると思つた。一つは、環

水道を比べましたときに、同一水質であるとしたらどんな影響の違いを考えたか、きょうの論議を通じて、環境保全上重要な手段であるか、逆

費用負担において、浄化槽の方がはるかに有利な手法であるか、私自身は考えております。

費用負担において、浄化槽の方がはるかに有利な手法であるか、私自身は考えております。

浄化槽法を全部ひっくりかえして、排水口の排水に丸がついて、どれだけの水を一日に使う、生活排水として排出をしておるのか。これが各種の汚水処理施設に集められて、浄化されて放流をしております。じゃあ、排水口の排水の、例えばBODが同じ二〇以下だ

浄化槽法を全部ひっくりかえして、排水口の排水に丸がついて、どれだけの水を一日に使う、生活排水として排出をしておるのか。これが各種の汚水処理施設に集められて、浄化されて放流をしております。じゃあ、排水口の排水の、例えばBODが同じ二〇以下だ

浄化槽法を全部ひっくりかえして、排水口の排水に丸がついて、どれだけの水を一日に使う、生活排水として排出をしておるのか。これが各種の汚水処理施設に集められて、浄化されて放流をしております。じゃあ、排水口の排水の、例えばBODが同じ二〇以下だ



下水道事業予算の概要

10年間の下水道建設費総額は、31兆0,168億円、整備された人口は、2,390万人で、1人当りの下水道建設費は、130万円/人である。

表-3 年度別下水道建設費

Table with 7 columns: 年度, 下水道建設費 (総額, 国費, 市町村負担), 年間整備人口, 1人当りの建設費, 整備率. Rows for years 5 to 14 and a total row.

(社)日本下水道協会;「下水道統計」より

下水道管路布設費

平成14年度末、下水道の管路総延長距離は、35万8,534kmである。(地球1周:4万km)

表-6 管路布設距離及び建設費

Table with 5 columns: 年度, 管路総延長, 年間布設距離, 管路建設費, 1km当りの管路建設費. Rows for years 5 to 14 and an average row.

(社)日本下水道協会;「下水道統計」より

年平均1万4,000km布設された下水道管路は、30年後破損、腐食するといわれており、布設替え工事により、毎年2兆4,780億円の建設費が必要となる。

(前ページより) これだけの建設費の中で、総事業費に対する管路の布設工事の費用がいかに大きいのか。一般的に言いますと、農集の場合などは総事業費の七、八〇%が管路の建設費用である。下水道になつて規模が大きくなればなるほど、総事業費に占める管路の建設費を八〇プロとか八〇何プロとだんだん高くなっていく。こういう

た、とてつもない管路の建設費というやつを前提にして、一人頭百三〇万のお金がかかっているではありませんかという事です。例えば資料の九頁の表一

も、右の端で一世帯当たり不足金額というのを見ていただきたい。愕然とするのはこの赤三角でありまして、つまり五万円以上足りません。もし下水道のユーザがお金を払つて、公営企業としてのパラスシートが成立するようにしようと思つたら、現在の下水道料金にこれだけプラスする以外に手が無い。(中略)

この間、静岡で現実に起きましたのは、非常に大きな製紙工場が下水道に当初から接続をして多額の費用を払っていた。しかし、その工場の方は、どうもこれはうちの経営内容からいつて多過ぎると。自分の工場排水処理施設を独自につくろうではないかと。当然のことながら、下水の規定よりもはるかにすぐれた水質の放流水を出す処理

場を自前でこしらえた。ゆえに下水道はもう使いません、接続をやめまうと。そつすると、この事業主体は下水道法違反だか何だか裁判を起こした。で、高裁まで行きました。裁判所の判断は被告側の工場が当然である。これだけの水処理をしてこうしているのに、これを下水へつながらなきゃならないという本格的な理由は存在しないと。つ

ながなくていいんだという判例を起こしております。(中略) 生活排水処理計画は住民への情報開示が前提

廃掃法に基づいた市町村の一般廃棄物処理計画、その中で出てくる生活排水処理計画、これを明確に我が市、我が町、我が村の生活の基本を守る、環境の基本を守る条件だという認識でこの二つの計画を明確にするには嫌でも下水、農集、浄化槽は総合された計画として検討されなければならぬというわけでありまして。特に生活排水処理計画というものが、市町村の将来、あるいは住民、地域、環境にとつていかに重要なものであるかというのをもう一度確認していただければならないわけでありまして。

地方自治体の最終のよりどころは市町村議会であると思つてあります。市町村議会の議員というのは、明らかに住民の代表であります。そして、みずからが住民であり、各縦割り行政部局にとられず、すべての事業計画、内容について、科学的に客観的に評価し得る唯一の存在が、市町村議会、あるいは県議会の議員の方々であります。この議員の方々の科学的な評価、判断と首長であります。一般廃棄物処理計画、生活排水処理計画、浄化槽の面的な計画的な設置促進、あるいはそれに伴う汚泥処理ということを考えたとときに、最も大きな役割は首長さんと議会の議員さんのかかっていると思つてあります。結局の責任は首長と議会が背負つており、自分たちは地域、納税者、住民に対してそれだけの大きな責務を背負つた存在であるという、県・市町村行政対策が再度考え直されれば、私たちが考えている世の中の不平等な取り扱い、何が最も水環境保全の上で望ましい手段の選択であつたかというの、おのずと出てくるのではないかと

思つております。さりとして、住民に対して情報開示がなかつたら、我々の地区では浄化槽や下水に幾らのお金がかつて、それはどこかで赤字になっているのかないのか、何の区別もつかない。住民参加型行政をやるうと思つたら、いかに納税者に対して行政は正確な情報を開示するか、これは義務であると思つてあります。地方自治体の最終のよりどころは市町村議会であると思つてあります。市町村議会の議員というのは、明らかに住民の代表であります。そして、みずからが住民であり、各縦割り行政部局にとられず、すべての事業計画、内容について、科学的に客観的に評価し得る唯一の存在が、市町村議会、あるいは県議会の議員の方々であります。この議員の方々の科学的な評価、判断と首長であります。一般廃棄物処理計画、生活排水処理計画、浄化槽の面的な計画的な設置促進、あるいはそれに伴う汚泥処理ということを考えたとときに、最も大きな役割は首長さんと議会の議員さんのかかっていると思つてあります。結局の責任は首長と議会が背負つており、自分たちは地域、納税者、住民に対してそれだけの大きな責務を背負つた存在であるという、県・市町村行政対策が再度考え直されれば、私たちが考えている世の中の不平等な取り扱い、何が最も水環境保全の上で望ましい手段の選択であつたかというの、おのずと出てくるのではないかと